

支援プロジェクトのご提案

～国境を越えて共生し、持続可能な社会を共に

法人による社会的インパクトが求められる今、ご検討する中で、このような思いはございませんか。

- ・ 企業活動を社会に還元するには、どうしたらよいのか
- ・ 社会的インパクトを可視化して、しっかりとお客様や株主様に報告したい
- ・ 本業と関連する活動への支援を考えたい
- ・ 社員の出身国のために何かできないか
- ・ 現地法人のある国の人のために何かできないか
- ・ 将来進出を考えている国の状況を知るきっかけがほしい

AARは、日本を含めた世界17カ国で、さまざまな活動に取り組んでいます。現地に日本人駐在員がいる国も多く、報告書や報告会などを通じてそのインパクトを可視化してご提出いたします。当資料では今、一緒に取り組んでいただきたいプロジェクトを掲載しております。内容や予算は実施時期により変動いたします。カスタマイズも可能です。気になるものがございましたらお気軽にご連絡ください。詳細をご説明させていただきます。

AARの特徴・強み

～AARだからできること／AARにしかできないこと

➤ 緊急→復興→開発という一連の支援（一過性の支援でおわらない）

すべての活動経験があるからこそ、緊急期の対応で終わらず、その後の生活再建や根本原因となっている社会課題の解決に向けた取り組みができます。

➤ 大きな支援から取り残された方の最後の砦に

現地に職員や連携する団体がいることで、障がい者や女性など特別なニーズのある方への調査や支援を一人ひとりに届けることができます。これまでの経験から必要な支援を予測し動くことができます。

➤ 分野に縛られずに必要な支援を届ける

特定の分野（医療、教育など）のみを対象とする団体ではないため、現地で必要とされる支援を見極め、活動に繋げることができます。※分野の専門性は外部専門家や団体との連携で補っています。

➤ 日本人駐在員からの確実なご報告

日本生まれの団体で本部が東京にあり、活動地には日本人駐在員がいるため、確実に支援を届けていることを具体的にご報告することができます。また、日本社会へのPRも行います。

一覧

★マークは中長期継続事業

国名	プロジェクト名	国名	プロジェクト名
ミャンマー	★障がいのある若者に職業訓練を提供	タジキスタン	★障がいのある女性への職業訓練
	★障がいのある子どもを支える“里親”プロジェクト	ウクライナ	★戦時下の人々への心理サポートと医療支援
カンボジア	★障がいのある女性を受け入れる職業訓練校の環境整備	トルコ	★シリアやアフガニスタン等からの難民への食料支援
	★障がい者の社会進出を目指す・車いす工房の運営	スーダン	★障がい者の生活を支える義肢等の提供
バングラデシュ	★女性や子どもを守る多目的施設の運営	ケニア	★身寄りのない難民の子どもたちの将来を守る
	★障がい者への義肢装具等の提供	ウガンダ	★障がい者のビジネス起業支援
パキスタン	★聴覚障がい児の教育支援	ザンビア	★成人向け英語教室の開催
アフガニスタン	★地雷から人々を守る～地雷除去	日本（能登）	子どもたちが通うコミュニティスクールの増改築
	★地雷から人々を守る～回避教育		外国人防災ネットワーク形成支援
	★帰還民の生活を守る		福祉避難所の設立
			家屋の保全（修繕）



ミャンマー 障がいのある若者に職業訓練を提供

障がい
者支援

教育

課題 障がい者への偏見や経済状況の悪化により、社会的・経済的に自立できない障がい者が多くいます。行政からの支援も乏しく、政変（2021年）や大地震（2025年）の影響で、障がいのない人も働くことが難しい中、障がい者の就労は困難を極めています。

事業内容

- ・国内で唯一の民間の職業訓練校を運営。
- ・洋裁／理容美容／コンピューターコース
- ・3学期制で年間約120人が学習
- ・寮での共同生活を通じ、社会性やコミュニケーション力も学習
- ・卒業後の就労先の開拓、紹介

受益者数 訓練生120人とその家族480人

予算

1学期の運営費	500万円
1年間の運営費	2,000万円

メリット

- ・職業訓練校へ訪問が可能です。
- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・訓練校に貴社名を掲示できます。
- ・訓練生一人ひとりの状況や支援前後の変化などストーリー性のある発信が可能です。





ミャンマー 障がいのある子どもを支える“里親”プロジェクト

障がい
者支援

教育

課題 障がい児をケアする施設は少なく、特に知的障がいや重度の障がいがある子どもたちは社会と接する機会がほとんどありません。経済的に苦しい家庭では、十分な診療やリハビリを受けさせることが難しい状況です。

事業内容

- ・子どもたちが通う施設の運営支援 交流の場の確保、イベント開催など
- ・子どもたちへのリハビリ提供、補助具支援 ・職員の個別訪問による家庭での課題把握と支援
- ・子どもたちを支える家族へのサポート

受益者数 30人とその家族150人

予算 1年間の運営費 150万円

メリット

- ・施設への訪問が可能です。
- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
一人ひとりの障がいの状況や支援前後の変化など細かく可視化することができます。
- ・一人ひとりを長期にわたり支援することができます。

※子どもの安全のためHPやSNSで顔写真を発信できない場合があります。





カンボジア

障がいのある女性を受け入れる職業訓練校の環境整備

障がい者支援

女性

課題 障がい者の就労率はわずか0.7%です。その中でも女性は特に難しく、経済的・社会的自立が非常に困難です。地域の職業訓練校では、障がい者を受け入れる環境が整えられておらず、通うことが難しい状況です。

事業内容

- ・女性向けの職業訓練校の教員研修（障がい者の受け入れや就労支援のスキル向上）
 - ・訓練校でのサポート体制の構築
 - ・障がいのある女性対象に就労研修実施（縫製・美容）
 - ・訓練校にパソコンコース開設（機材購入）
 - ・障がい者雇用を促進する企業の「職場見学ツアー」の実施
 - ・地域の人を対象とした障がいに関する啓発活動

受益者数 直接受益者：170人 間接受益者：350人

予算 500万円

メリット

- ・職業訓練校へ訪問が可能です。
- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・訓練校に貴社名を掲示できます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





カンボジア 障がい者の社会進出を目指す・車いす工房の運営

障がい
者支援

課題 カンボジアでは、車いすを必要とする障がい者数に対し、国内の供給体制が追いついていません。特に地方居住者や貧困層にとって、適切な車いすを入手する機会は極めて限定的です。車いす工房は当会から独立したものの、組織運営が課題で、財政面において経営危機に直面しています。

事業内容

- ・車いす工房の運営を支え、年間500人に車いすを提供
- ・工房で働く障がいのある職員の自立を支援
- ・組織運営を担う職員を1名雇用
- ・一人ずつ体の状態に合わせた車いすを製作

受益者数 575人

予算 400万円

メリット

- ・車いす工房へ訪問が可能です。
- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・車いす工房に貴社名を掲示できます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





バングラデシュ 女性や子どもを守る多目的施設の運営

難民
支援

女性

課題 ロヒンギャ難民は帰国の目途が立たず、不安や不満が募る中、キャンプ内の治安の悪化が深刻化しています。人身売買などの犯罪や家庭内暴力が横行しており、被害に遭いやすい女性や子どもを守る活動が急務です。

事業内容

- ・セミナーの実施：性暴力被害者のケア、メンタルヘルスケア、
- ・女性や子どもの権利に関する啓発
- ・子ども向けワークショップ

受益者数 2,100人

予算 600万円

メリット

- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・多目的センター内外に企業のロゴを掲示できます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





バングラデシュ 障がい者への義肢装具等の提供

難民
支援

障がい
者支援

課題 ロヒンギャ難民や受け入れ地域の貧困層の中でも特に、障がいのある方々やその家族は、周囲の無関心や差別に苦しみ、経済的にも非常に厳しい状況にあります。栄養不足が原因でくる病を発症するなど、障がいが悪化するケースも少なくありません。また、適切な医療サービスの不足により、脳性麻痺や先天性内反足の子どもたちや、さらには体が不自由な高齢の方々も十分なケアを受けられずにいます。

事業内容

- ・障がい者へ車いすや補助具を提供
- ・障がいの状態を確認する理学療法士の雇用

受益者数 200人

予算 500万円

メリット

- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・寄付で何ができたか、どう変わったかがわかりやすいのでインパクトを示しやすいです。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





パキスタン 聴覚障がい児の教育支援

障がい
者支援

教育

課題 聴覚障がいのある児童が学校に通うことができない、適切な教育を受けられないなどの教育上の課題を抱えている。

事業内容 聴覚障がいのある児童が手話を使用して母国語が学ぶことを支える

- ・小学2年生以降の国語の教科書を手話訳した冊子作製
- ・上記の補助教材としてビデオ作成
- ・作成した冊子・ビデオの配付

受益者数 100人

予算 100万円

メリット

- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





アフガニスタン 地雷から人々を守る～地雷除去

地雷
対策

課題 紛争により残された地雷・不発弾などの爆発物による被害者が後を絶ちません。また、汚染された土地では農業なども再開できないため、人々が平穏な生活を取り戻すことが困難です。

事業内容 ・地雷除去専門団体を通じた地雷・不発弾除去
647,954㎡の土地の不発弾33個除去 ※2025年度実績

受益者数 受益者 約500名

予算 650万円

メリット ・人々の安全が確保された土地の広さを数値で示すことができます。
・当会のHPやSNSなどで発信します。





アフガニスタン 地雷から人々を守る～回避教育

地雷
対策

課題 紛争により残された地雷・不発弾などの爆発物を完全に取り除くまでには長い時間がかかります。除去までに、地域の人々が誤爆事故による被害に遭わないための予防法や爆発物を見つけた際の適切な対象法についての知識を身に着けていることが、命を守ることに繋がります。

事業内容

- ・爆発物の被害に遭わない方法を伝える講習会を実施
- ・爆発物回避メッセージを掲載したノートやペンを作成、配付

受益者数 約5,500人

予算 1000万円

メリット

- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





アフガニスタン 帰還民の生活を守る

難民
支援

女性
支援

障がい
者支援

課題 長年続いた紛争や迫害の恐れから、隣国に逃れているアフガニスタンの人々が多くいます。近年隣国のパキスタン・イランでは、そうした人々の強制送還を行っており、財産を没収され、着の身着のまま政治・経済的に不安定な母国アフガニスタンに戻らざるを得ない人々（=帰還民）が多く出ています。

事業内容 特に脆弱な帰還民に食料または生活必需品を提供。帰還民家族が生活を再建することを支え、生活のための最低限のニーズをカバーすることで、児童労働や児童婚といった保護リスクを下げることができます。

受益者数 150世帯(1世帯あたり7人:約1050名)

予算 500万円

メリット

- ・ 支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・ 当会のHPやSNSなどで発信します。





タジキスタン 障がいのある女性への職業訓練

障がい
者支援

女性
支援

課題 障がいへの差別や偏見が厳しく、障がい者の就労率は約10%に限られ、貧困に陥りやすい悪循環があります。また、障がい児を持つ親は、子どもの面倒を見るため家を空けられず、就労の機会から遠ざかるを得ません。

事業内容

- ・ 障がいのある女性およびその家族への縫製研修、必要資機材の提供
- ・ 研修後の開業に必要なミシン、縫製道具などの提供
- ・ 料理研修・パソコン研修開設、設備・資機材の提供
- ・ 職業訓練施設の整備

受益者数 直接受益者60名（受講生20名x3コース）
間接受益者300名（受講生の家族）

予算 1,500万円

メリット

- ・ 支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・ 職業訓練校へ訪問が可能です。
- ・ 当会のHPやSNSなどで発信します。





ウクライナ 戦時下の人々への心理サポートと医療支援

難民
支援

地雷
対策

課題 紛争により、爆発性残存物（不発弾）被害者・生存者はトラウマ・家族の分断・生活不安などの深刻なストレスを抱えている一方、専門的なメンタルヘルスサービスへのアクセスが十分ではありません。モルドバへ逃れている人々は、必要な医療サービスや社会的保護に十分アクセスできず、健康面・生活面での支援が行き届いていません。

事業内容

- ・女性、子ども、高齢者、障がい者、避難民など、脆弱な立場の人々への心理的サポート
- ・モルドバにおけるクリニックでの診療、医薬品の処方、心理的サポート

受益者数 250人

予算 1500万円

メリット

- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・実施会場に企業のロゴを掲示します。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





トルコ シリアやアフガニスタン等からの難民への食料支援

難民
支援

<p>課題</p>	<p>トルコ最大の都市イスタンブールには、アフガニスタン、シリア、イランなどの周辺国から紛争を逃れた多くの難民が暮らしています。言語の壁に加え公的サービスの不足も重なり、日々の生活を維持することさえ難しい人が多くいます。</p>
<p>事業内容</p>	<p>・食料品や衛生用品の配付</p>
<p>受益者数</p>	<p>200人</p>
<p>予算</p>	<p>200万円</p>
<p>メリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。 ・当会のHPやSNSなどで発信します。 <p>※受益者の安全確保のためHPやSNSで顔写真を発信できない場合があります。</p>





スーダン 障がい者の生活を支える義肢等の提供

難民
支援

障がい
者支援

地雷
対策

課題 地雷や感染症、日本であれば適切な治療を受けて回復できる怪我でも、医療体制が不十分な地域では四肢を失うことがあります。紛争下のスーダンでは、その後の生活を支えるための義肢・義足を手に入れることのできない方が多くいます。

事業内容

- ・地雷被害者とマイセトーマ患者を含む障がい者へ義肢または移動補助具を提供
- ・国立義肢装具センターと連携し、義肢制作から理学療法、そして歩行訓練まで一連のサービスを提供

受益者数 子ども含む障がい者60人

予算 500万円

メリット

- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・貴社のロゴをステッカーとして義肢に貼付できます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





ケニア

身寄りのない難民の子どもたちの将来を守る

難民
支援

教育

課題 カクマ難民キャンプ・カロベイエ難民居住区に暮らす約30万人の難民のうち、58%が子どもです。両親と死別・生き別れし、身寄りのないまま暮らしている子どもたちもいます。彼らは日々の食料を確保することに精一杯で、学校に通うことも難しい状況に置かれています。

事業内容

- ・子どもたちへの食料や生活必需品、学用品の配付
- ・子どもたちを見守る地域ボランティアへの研修
- ・子どもと学校との連携支援

受益者数 困難な状況にある子ども50人

予算 300万円

メリット

- ・支援を受けた人数や実施内容を可視化できます。
- ・現地訪問が可能です。
- ・子どもたち一人ひとりの状況や支援前後の変化など、ストーリー性のある発信が可能です。
- ・貴社のロゴなどをスタッフTシャツ、子どもたちへの支援用品などに貼付できます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





ウガンダ 障がい者のビジネス起業支援

障がい
者支援

地雷
対策

課題 ウガンダの北部では、武装勢力による内戦の余波により、コミュニティが脆弱な上、多くの障がい者が取り残され、自立へのスキルを学ぶ環境がありません。また、現在も、紛争により残された不発弾による死傷者が報告されています。

事業内容

- ・障がい者に配慮した野菜栽培や農業スキル研修
- ・起業のための基礎的ビジネスマネジメント研修
- ・地雷、不発弾の回避教育

受益者数 障がい者15人

予算 250万円

- ・農業に必要な資機材と技術研修などの費用
- ・6か月の運営費

メリット

- ・現地訪問が可能です。
- ・支援を受けた一人ひとりの状況を可視化し、見守ることができます。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





ザンビア 成人向け英語教室の開催

難民
支援

教育

課題	ザンビアの公用語は英語ですが、多くの難民の出身国であるコンゴ民主共和国はフランス語が公用語であり、「公的な書類が読めない」「仕事に応募できない」ことが自立の壁となっています
事業内容	基礎、初級、中級の3つのレベルで青年および成人向けに英語教室を開催
受益者数	45～75人
予算	500万円
メリット	<ul style="list-style-type: none">・ 現地訪問が可能です。・ 難民一人ひとりの状況や支援前後の変化など、ストーリー性のある発信が可能です。・ 当会のHPやSNSなどで発信します。





ザンビア

子どもたちが通うコミュニティスクールの増改築

難民
支援

教育

課題 メヘバ難民居住地内には、3つのコミュニティスクールがありますが、公立校や私立校に比べて圧倒的に施設が不十分です。教室が足りない、窓が無い、床が無く地面がむき出しになっているといった状態で、子どもたちがなかなか授業に集中できません。

事業内容 コミュニティスクールの教室増築、トイレ棟建設、窓ガラスの取り付け、壁の塗装、机の購入など

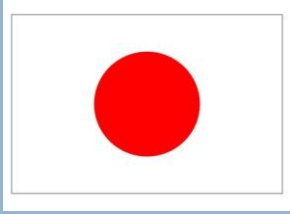
受益者数 約250人

予算 300万円

メリット

- ・子どもたちの就学支援に直結するので成果が見えやすいです。
- ・現地訪問が可能です。
- ・子ども一人ひとりの状況や支援前後の変化など、ストーリー性のある発信が可能です。
- ・貴社のロゴをコミュニティスクールの壁などに貼付可能です。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





日本（能登） 外国人防災ネットワーク形成支援

災害
支援

課題 2024年の能登半島地震で大きな被害を受けた奥能登地域には600人以上の技能実習生などの外国人住民が暮らしていますが、外国人住民の中には地域とのつながりが十分でない方や日本語での情報理解が難しい方も多く、震災時には支援情報が届きにくい、支援にアクセスしづらい状況が見られました。

事業内容 地域の行政や関係団体と連携し、防災をテーマとした交流イベントなどを通じた外国人住民と地域住民をつなぐ防災ネットワークの形成

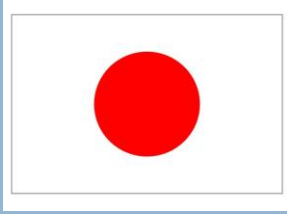
受益者数 約200人

予算 200万円

メリット

- ・ イベントの際にロゴ入りバナーを掲示します。
- ・ 受益者数がわかり易いのでインパクトを可視化できます。
- ・ 当会のHPやSNSなどで発信します。





日本（能登） 福祉避難所の整備

災害
支援

課題 2024年の能登半島地震発生後、発達障がいや知的障がい者の中には避難所における環境の変化等により状態が不安定になる人もおり、家族が周囲に遠慮して倒壊の恐れのある自宅に留まったり、車中泊を続ける人もいました。厳しい寒さの中、障がい者本人や家族の健康状態が悪化する事例が発生しました。

事業内容 障がいのある方が災害時に安心して気兼ねなく利用できる福祉避難所の整備。
寝泊りができるように、フローリングへの床の張り替え・避難が長期化した場合に必要となるシャワー室、バリアフリートイレ、自炊可能なキッチンの整備

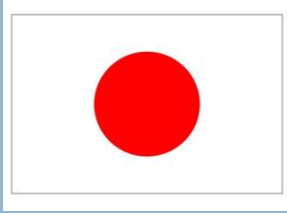
受益者数 避難者数とその家族

予算 450万円、1200万円 ※整備場所により異なる

メリット

- ・福祉避難所の入り口にお名前が入ったプレートをお付けします。
- ・当会のHPやSNSなどで発信します。





日本（能登） 家屋の保全（修繕）

災害
支援

課題 2024年の能登半島地震で被災した家屋は、住家の被害認定によって公的な支援金額が異なります。准半壊や一部損壊では十分な支援金を得られず、修繕できないままの家屋がいまだにあります。

事業内容 特に経済的に困窮している障がい者や独居高齢者世帯の家屋保全（個別支援）

受益者数 保全した家屋に住む方

予算 被害状況に応じます

メリット ・当会のHPやSNSなどで発信します。

